

高校跡地整備による洞爺高校校舎解体経費などを計上しました。

継続事業では、虻田漁港大磯分区整備事業、伏見橋崩落による整備事業、海岸通り整備事業、洞爺2号線歩道新設工事、高砂貝塚保存整備事業などを計上しました。

ソフト面では、子育て支援対策として、中学生以下の医療費を無料化にする乳幼児等医療費助成事業、出産祝い金・子どもインフルエンザ接種助成事業を継続して実施するほか、洞爺湖温泉開湯100年記念事業に対する補助、高齢者見守りボランティアモデル事業などを新たに計上しました。

産業振興対策としては、農業の6次産業化に向けた検証、自然環境に対して負荷の少ない生分解性マルチ普及拡大事業、農業用廃プラスチック資源地リサイクル事業、グローバルギャップ認証継続事業、有害鳥獣対策事業、ウニ種苗放流事業、ホタテ計量器施設整備に対する補助など農林水産業の振興施策に加え、ふるさ

と納税を活用した地域特産品のPRや販路拡大の推進に向けた取組みにも予算を計上し支援を行っていきます。

観光振興策については、引き続き観光関係団体、観光事業者、町民、行政が一体となり、おもてなしの心が満ちた洞爺湖町を実現するため各種事業、イベント開催によるまちづくりに対しても継続して予算を計上し支援を行うほか、旅客誘致対策の強化、洞爺湖有珠山ジオパークなどの恵まれた地域資源を活かしたまちづくりにも積極的に取り組んでまいります。

## 特別会計

国民健康保険特別会計は、被保険者数の減による保険給付費の減額を見込み、対前年度5・0%の減、公共下水道事業特別会計は、終末処理場設備工事等が増の一方、公債費支出が減少することから対前年度1・1%の減とし、介護保険特別会計は、特養施設50床の開設に伴う施設介護費の伸びを見込み対前年度3・0%の増、簡易水道事業特別

会計は、配水池改修工事の終了により対前年度11・6%の減、後期高齢者医療特別会計は、被保険者数の増による広域連合納付金が増加とるため対前年度1・1%の増を見込みました。

5つの特別会計を合わせた予算総額は37億8780万円となり、前年度からみて2・0%の減額となりました。

## 水道事業会計

水道事業会計は、収益的収支が3億2420万円で、配水管布設替工事の減による固定資産除却費の減により対前年度0・9%の減となりました。

資本的支出は1億3798万円で道路改良による配水管移設工事の減により対前年度24・5%の減となりました。

## 一般会計の主な事業

### 議会費

7144万円

## 総務費

◆議会広報事業(年4回発行)  
……143万円

3億7116万円

◆公共施設撤去事業(洞爺高校校舎解体経費など)……8699万円

◆公共施設LED整備事業……296万円

◆情報管理事業……5932万円

◆庁内各種電算システム管理経費

◆ふるさと寄附金事業……1346万円

◆ふるさと納税寄付者に対する特産品贈呈経費

◆高齢者、重度心身障害者、ひとり親世帯に対する灯油の助成

◆高齢者世帯見守り事業……16万円

◆地域で高齢者単身世帯を見守るため玄閑掲揚旗購入経費

◆洞爺保育所建設基本設計……196万円

◆乳幼児等医療費助成事業……2039万円

◆中学生以下の医療費助成(無料化)

◆私立幼稚園施設型給付事業……1743万円

◆こども・子育て支援新制度による施設型給付経費

## 衛生費

5億5485万円

◆救急診療体制等支援事業……2300万円

◆洞爺協会病院の救急診療体制等を支援するための補助

◆生ごみたい肥化施設改修事業……1億1000万円

◆各種健診事業……2072万円

◆基本健診、結核・がん、脳ドック、妊産婦・乳幼児健

## 民生費

14億6908万円

◆福祉灯油給付事業……138万円



1万円以上の寄付の方への返礼品(ホタテ)